

令和8年度 第2学年 国語科 評価・評定

1. 評価基準（各単元に概ね共通しています。）

評価の観点	Bとされる基準	
1. 知識・技能	<p>○言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。</p> <p>○話し言葉と書き言葉の特徴や、敬語の働きについて理解している。</p> <p>○1年までに学習した常用漢字に加え、350字～450字程度の漢字を読み、学年別配当表の漢字を書き、文章で使っている。</p> <p>○抽象的な語の量を増やし、類義語、多義語、同音異義語や多義語などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>○単語の活用、助詞や助動詞の働き、文章の構成や展開について理解を深めている。</p> <p>○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係を理解し、それらの様々な表し方を理解し使っている。</p> <p>○古文や漢文を音読して古典の世界に親しみ、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。</p> <p>○漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して読みやすく速く書き、目的に応じて楷書と行書を使い分けている。</p>	
2. 思考・判断・表現	話すこと	<p>○社会生活の中から話題を決め、異なる立場を考えながら集めた材料を整理し、内容を検討している。</p> <p>○自分の考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</p> <p>○資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</p> <p>○論理の展開に注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p> <p>○相手の立場を尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</p>
	書くこと	<p>○目的に応じて社会生活から題材を決め、様々な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>○伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>○説明や具体例を加えたり表現効果を考えて描写したりするなどして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>○読み手の立場に立って、表現効果を確かめて、文章を整えている。</p> <p>○読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出している。</p>
	読むこと	<p>○文章全体と部分、主張と例示の関係や、登場人物の設定の仕方などを捉えている。</p> <p>○複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。</p> <p>○目的に応じて必要な情報を要約したり、場面と場面などを結びつけたりして、内容を解釈している。</p> <p>○文章と図表などを結び付け、内容を解釈している。</p> <p>○文章比較するなどして、文章の構成や論理の展開、表現効果について考えている。</p> <p>○文章を読んで理解したり考えたりしたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>
	書写	<p>○文字を書く上での留意点を確認したり、考えたりしながら書いている。</p>
3. 主体的に学習に取り組む態度	<p>○学習の見通しを持って、粘り強く、自らの学習を調整しながら課題に取り組もうとしている。</p> <p>○積極的に意見を発表したり、工夫しながら板書をノートしたり、発展的な内容を自ら調べたり、探究心を持って主体的に課題に取り組もうとしている。</p> <p>○提出物は学習の見通しを持って完成させ、期限内に提出しようとしている。</p> <p>○課題の要点を的確に理解し、自分なりに創意工夫しながら丁寧に取り組もうとしている。</p> <p>○自らの学習を振り返り、成果を確認し、課題を見出そうとしている。</p>	

2. 評価方法（次の資料を総合して評価します。）

定期テスト・小テスト・プリント・ノート・ワーク・漢字練習帳・聞き取りテスト・話し合い活動・書写作品・その他提出物・授業への取り組み

	配分	中間考査	期末考査	小テスト・プリント	ノート・提出物	授業取り組み
知識・技能	100点	◎	◎	◎	○	○
思考・判断・表現	100点	◎	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100点	○	○	◎	◎	◎

【達成率】A=80%以上 B=50%以上 C=50%未満 ◎=とても重視する ○=重視する

【評定】5=90%以上 4=80%以上 3=50%以上 2=20%以上 1=20%未満